

東北公益文科大学大学院 GUIDEBOOK 2020

公益学研究科公益学専攻修士課程

公益学研究科公益学研究専攻博士後期課程



研究科長あいさつ

公益を研究・実践し、 社会の未来をつくる

東北公益文科大学大学院公益学研究科では、「公益」にかかわる多様な課題について、さまざまな角度から研究を進めています。現代社会における最先端の研究課題を発見し、「公益」の視点から課題解決のための理論と方策を見出すという実践的な研究が数多く行われてきました。

修士課程には、公共経営研究領域、国際ビジネス研究領域、地域共創・ソーシャルワーク研究領域、そして情報科学研究領域の4領域を設置し、充実した教授陣による多彩なカリキュラムが用意されています。4領域のいずれかに軸足を置いて専門的な研究を深めつつ、他の領域の知見も広く学ぶことにより、領域横断的（学際的）に研究できることが大きな特長です。地域共創・ソーシャルワーク研究領域に、大学院では日本初の「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程」を開設しています。ここでは、学校と家庭・地域社会をつないで児童・生徒をめぐるさまざまな課題の解決を図る専門職として、スクールソーシャルワーカーを養成しています。

また本大学院は、課題解決にむけた理論や手法の学修とともに、他者との対話、協働により解決策を提案・提言する能力の育成に力を入れています。大学の理念「尊重し調和へ」を重んじる視点、グローバル（グローバル+ローカル）な視野をもち、深い学識をもとに、地域の企業、NPO、行政、地域コミュニティなどで活躍し、社会に貢献する人材を輩出していきます。このような人材こそ、社会や地域に新たな価値をつくり出し、次代を担うリーダーとして、今まさに求められる人材であると確信します。

未来の社会づくりに挑戦しようとする志高い皆さんと出会い、ともに学ぶことを心から楽しみにしています。



公益学研究科長
伊藤 真知子

大学院の特色 SPECIALTIES



公益を根底に、さまざまな分野を幅広く学び、 課題解決の方法を考える

● 4つの研究領域を設置

公共経営研究領域、国際ビジネス研究領域、地域共創・ソーシャルワーク研究領域、情報科学研究領域の4つの研究領域で専門的に学ぶことができます。

● 昼夜開講制で働きながらの学びも可能に

平日の夜間や土曜日を中心に授業を開講しているため、働きながら自らの研究課題に取り組むことが可能です。

● スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程を大学院に全国で初めて設置

医療機関や児童相談所など複数の機関と連携して児童・生徒の抱える問題を解決に導くスクールソーシャルワーカー。新たな児童・生徒支援システムとして政府も人員を2020年までに10倍に増やす方針であり、本学大学院では、このスクールソーシャルワーカーを輩出する教育課程を設置しました。

所定の単位を取得し終了した方には、「スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程修了証」が発行されます。

● 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科と履修交流協定を結んでいます

MBA 教育を行う経営戦略専攻（ビジネススクール）と公認会計士等の職業会計人養成のための会計専門職専攻（アカウンティングスクール）を擁する関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科と履修交流協定を結んでいます。2019年度には、両研究科が協力し、女性活躍を推進する履修証明プログラム「ハッピーキャリアプログラム」を開講しました。特定の科目については、本学大学院の修了単位に認定されます。

公益学研究科 修士課程

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）】

必要な単位数を修得し、次の知識・能力を身につけた人材に学位：修士（公益学）を授与します。

- 課題の研究に必要な専門知識
- 課題を客観的に分析し解決策を論理的に志向する能力
- 課題の解決に向け多様な主体と共創し合意を形成する能力
- 社会的責任・異文化・多様な価値観に対する深い理解力



【人材育成像】

4つの研究領域 それぞれで、次の人材育成像を掲げています。

公共経営研究領域	専門知識と共創力を身につけた公務員	公務員に必要な政策立案や公共経営に関する専門知識を身につけ、企業・非営利組織・市民等と連携・協働しながら、地域の課題解決に主体的に取り組むことができる人材
国際ビジネス研究領域	国際的視野を持ち地域経済を担うビジネスパーソン	ローカルーグローバルーローカル（LGL）の精神のもと、ローカル（地元地域）とグローバル（国際社会）を相互に結びつけ、グローバルなビジネスシーンに深いつながりを持ちつつ、地元地域のビジネスでも強いリーダーシップを発揮できる人材
地域共創・ソーシャルワーク研究領域	地域共創・地域課題解決を担う市民	市民の立場から官民の多様な組織、個人等との連携、協働を推進し、地域社会の複合的な課題の解決に主体的に取り組むことができる人材
情報科学研究領域	公益的かつオープンな思考で問題に立ち向かう技術リーダー	オープンデータ／オープンソースの思想を理解し、分け隔てなく情報交換するための意義と基盤技術を理解し、情報洪水に惑うことなく本質的に重要な情報を抽出し簡潔性を保持したまま機敏な処理を行い判断に活かせる人材

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

基礎科目

「公益」に関する先行研究を理解し、「公益」を自らの問題意識に沿って学問的に考える方法を身につけます。

方法論科目

定性的・定量的研究方法の両方を身につけます。

発展科目・プロジェクト科目

課題の解決に必要とされる多様な主体との共創力、実践力、異文化や多様な価値観に対する理解力を身につけます。

専門科目

4つの研究領域を柱に、大学院生がそれぞれの問題意識に応じて学びを深めます。

公共経営研究領域 ▶詳しい内容は6ページ

国際ビジネス研究領域 ▶詳しい内容は6ページ

地域共創・ソーシャルワーク研究領域 ▶詳しい内容は7ページ

情報科学研究領域 ▶詳しい内容は7ページ

演習科目

先行研究を理解し、科学的な方法論に基づき、具体的な仮説の立論と検証による修士論文を提示します。

【修士課程の修了要件】

以下の要件をすべて満たす必要があります。

- ・ 本学大学院修士課程に2年以上在学すること
- ・ 入学時のカリキュラムに基づき、合計30単位以上単位修得すること
あわせて、基礎科目2単位、方法論科目6単位以上、演習科目8単位、主研究領域の専門科目を8単位以上単位修得していること
- ・ 在学中に修士論文を作成し、修士論文審査・最終試験に合格すること

【科目一覧および修了単位数】

(2019年9月現在)

科目区分	研究領域 および 個別科目名							
基礎科目	公益学総論							
方法論科目	論文作成法	統計学	社会調査論	共創の技法	情報処理論	文化交渉論	国際ビジネスコミュニケーション論	
専門科目	<公共経営研究領域>		<国際ビジネス研究領域>		<地域共創・ソーシャルワーク研究領域>		<情報科学研究領域>	
	公共経営研究1 (理論経済学)		国際ビジネス研究1 (組織行動論)		地域共創研究1 (公共性の社会学)		情報科学研究1 (計算理論)	
	公共経営研究2 (行政法)		国際ビジネス研究2 (マーケティング論)		地域共創研究2 (社会政策論)		情報科学研究2 (情報システム)	
	公共経営研究3 (行政学)		国際ビジネス研究3 (国際経済論)		地域共創研究3 (多文化共生・人権論)		情報科学研究3 (情報数理)	
	公共経営研究4 (財政学)		国際ビジネス研究4 (金融市場論)		地域共創研究4 (ソーシャルキャピタル論)		情報科学研究4 (人間工学)	
	公共経営研究5 (公会計論)		国際ビジネス研究5 (経営管理論)		地域共創研究5 (地域デザイン論)		情報科学研究5 (ソフトウェア論理学)	
	公共経営研究6 (NPM論)		国際ビジネス研究6 (国際人的資源管理論)		地域共創研究6 (NPO・非営利組織論)		情報科学研究6 (公益ソフトウェア論)	
	公共経営研究7 (公共政策論)		国際ビジネス研究7		地域共創研究7 (ソーシャルビジネス論)		情報科学研究7 (応用統計)	
	公共経営研究8 (自治体政策法務論)		国際ビジネス研究8 (コーポレートファイナンス論)		地域共創研究8 (合意形成・コーディネート論)		情報科学研究8 (情報セキュリティ)	
	公共経営研究9 (社会保障論)		国際ビジネス研究9 (アジア地域経済論)		地域共創研究9 (スクール(学校)ソーシャルワーク論)		情報科学研究9	
	公共経営研究10 (海外行政研究)		国際ビジネス研究10 (経営戦略論)		地域共創研究10 (教育福祉論)		情報科学研究10 (プログラミング概論)	
発展科目	現代政策分析	海外インターンシップ	スクール(学校)ソーシャルワーク演習 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導 スクール(学校)ソーシャルワーク実習					
	特別セミナー a		特別セミナー b		特別セミナー c		特別セミナー d	
プロジェクト科目	プロジェクトa		プロジェクトb		プロジェクトc		プロジェクトd	
自由科目	教育学*	教育行政*	生徒指導論*	進路指導論*	教育心理学*	教育相談の理論と方法*	精神保健学*	児童福祉論*
演習科目	演習Ⅰ		演習Ⅱ		修士論文指導Ⅰ		修士論文指導Ⅱ	

単位について

0 単位 … 修士論文指導Ⅰ、修士論文指導Ⅱ
1 単位 … 生徒指導論、進路指導論

4 単位 … 演習Ⅰ、演習Ⅱ (いずれも通年で4単位)
2 単位 … 上記以外の科目

注意事項

- ・「修士論文指導Ⅰ」および「修士論文指導Ⅱ」は「演習Ⅰ」および「演習Ⅱ」の単位を修得済みの者のみ履修できます。
- ・他大学の相互履修科目は、追加開講される場合があります。決定次第大学院事務局より連絡します。
- ・*が付してある科目は、スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程受講生のみ履修が可能です。

公益学研究科 博士後期課程

【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)】

必要な単位数を修得し、次の審査基準による博士論文審査に合格した人材に学位を授与します。

(1) テーマ

学術的・社会的意義を明確に意識したテーマ設定がなされているか。

(2) 研究の位置づけ

先行研究や関連研究が幅広く十分に渉猟され、的確に理解されたうえで問題設定がなされているか。

(3) 論文構成・体裁

テーマに沿って問題が適切に設定され、一貫した論述が展開された上で明確な結論が論理的に導き出されているか。

(4) 研究方法

テーマおよび問題設定にふさわしい研究方法が選択されているか。

資料の取り扱いや分析結果の解釈は妥当か。

(5) 新規性

テーマや問題設定、研究方法や結論等に、学術的・社会的に注目すべき新規性が認められるか。

【人材育成像】

公益の視点から新たな学術的知見を開拓・先導する研究者および高度専門職業人の育成を目指します。

【カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)】

- ・公益の視点から研究テーマに関する高度な専門知識を身につけるため、「公益学研究特殊講義」を配置します。
- ・主研究指導教員1名および副研究指導教員2名から成る研究指導グループの指導により、博士論文を作成します。

【博士後期課程の修了要件】

以下の要件をすべて満たすことが必要になります。

- ・本学大学院博士後期課程に3年以上在学すること
- ・入学時のカリキュラムに基づき、合計16単位以上単位修得すること。あわせて、公益学研究特殊講義科目4単位以上、研究指導科目12単位を単位修得すること
- ・在学中に博士論文を作成し、博士論文審査に合格すること

【科目一覧および修了単位数】

(2019年9月現在)

科目区分	個別科目名	単位
公益学研究特殊講義	公益学研究特殊講義 a (Advanced Academic Reading)	各2単位
	公益学研究特殊講義 b (地域活性化)	
	公益学研究特殊講義 c (森林の歴史と共生)	
	公益学研究特殊講義 d	
	公益学研究特殊講義 e (自治体マネジメント)	
	公益学研究特殊講義 f (Financial markets and the global economy)	
研究指導科目	研究指導Ⅰ・研究指導Ⅱ・研究指導Ⅲ	各4単位
	博士論文指導Ⅰ・博士論文指導Ⅱ・博士論文指導Ⅲ	各0単位

注意事項

「博士論文指導Ⅰ」「博士論文指導Ⅱ」「博士論文指導Ⅲ」は「研究指導Ⅰ」「研究指導Ⅱ」「研究指導Ⅲ」の単位を修得済みの者のみ履修できます。

履修について ABOUT STUDY

学びの流れ (修士課程 春学期：4月入学の例)

入学後1ヶ月以内に研究指導教員を決定し、指導を受けながら主要科目を履修します。

年2回、7月と11月に開催される「院生研究報告会」等を通して発表や意見交換をしながら、論文執筆に取り組みます。

1年次春学期 (4～9月)	1年次秋学期 (10～3月)	2年次春学期 (4～9月)	2年次秋学期 (10～3月)
4月 入学式・新入生ガイダンス 研究指導教員の決定 履修する授業の決定 7月 院生研究報告会にて研究発表 8月 集中講義期間および夏季休業期間	10月 履修する授業の決定 11月 院生研究報告会にて研究発表 2月 集中講義期間および春季休業期間	4月 履修する授業の決定 5月 修士論文題目決定 7月 院生研究報告会にて研究発表 8月 集中講義期間および夏季休業期間	10月 履修する授業の決定 修士論文審査 副査の決定 11月 院生研究報告会にて研究発表 1月 修士論文の提出 2月 修士論文審査・最終試験 修了者発表 3月 修了式

時 間 割 (修士課程 社会人学生の履修例)

社会人の就学に配慮し、平日の夜間や土曜日にも授業を配置しています。

主要な科目を1年程度で履修し、2年次は研究指導を受けながら、論文執筆に集中できます。

1年次 春学期 (4～8月)	時限	時 間	木曜日	金曜日	土曜日
	1	9:00～10:30			共創の技法
	2	10:40～12:10			共創の技法
	昼休み				
	3	13:00～14:30			論文作成法
	4	14:40～16:10			論文作成法
	5	16:20～17:50			演習Ⅰ
	6	18:00～19:30	公共経営研究1 (理論経済学)	現代政策分析	
	7	19:40～21:10	地域共創研究2 (社会政策論)	現代政策分析	
	〈春学期集中講義〉国際ビジネス研究3 (国際経済論)				
1年次 秋学期 (10～2月)	時限	時 間	火曜日	水曜日	木曜日
	1	9:00～10:30			
	2	10:40～12:10			
	昼休み				
	3	13:00～14:30		(演習Ⅰ)	
	4	14:40～16:10			
	5	16:20～17:50			
	6	18:00～19:30	地域共創研究1 (公共性の社会学)	公益学総論	演習Ⅰ
	7	19:40～21:10	地域共創研究5 (地域デザイン論)	公益学総論	地域共創研究4 (ソーシャルキャピタル論)
	〈秋学期集中講義〉国際ビジネスコミュニケーション論				
2年次	演習Ⅱ				

遠距離通学者は、学内宿泊施設等に宿泊し、翌日の授業に臨むことも可能です。
(宿泊は要事前予約)

履修者と教員との調整により、昼間に授業を受けることも可能です。

必要に応じて講義を受けながら(週1日程度の通学)各々の研究に深く取り組むことも可能です。

公共経営 研究領域

研究領域紹介

地 方分権、公民連携（Public Private Partnership）、水平・垂直の公公連携（Public Public Partnership）への取り組みがなされる現代地方自治の現場では、効果的な政策立案や効率的な公共経営のために、これまではなかった知識やスキルが公務員・議員等に求められています。例えば、地方都市等の消滅可能性が取りざたされる中、地域の経済発展や雇用創出について他地域とパイを奪い合うような従来の発想ではなく、地域特性を活かした再生を広域的な地域で連携（公民連携・公公連携）して模索していくことが必要であると考えられます。本研究領域では地域課題の解決に資する地域公共人材の輩出を目指し、地方分権・公民連携・公公連携時代の公務員・議員等に求められる経済学や法学、行政学をベースとした専門知識を身につけ公共経営に関する能力を高める学びを提供します。

履修モデル

研究テーマ 地方財政と持続可能なまちづくりに関する研究

履修科目 (32単位)	基礎科目	公益学総論	
	方法論科目	統計学、論文作成法、社会調査論、共創の技法	
	専門科目	<主研究領域> 公共経営研究 1（理論経済学） 公共経営研究 2（行政法） 公共経営研究 4（財政学） 公共経営研究 5（公会計論） 公共経営研究 7（公共政策論）	<他研究領域> 地域共創研究 6 （NPO・非営利組織論） 地域共創研究 8 （合意形成・コーディネーション論）
	演習	演習Ⅰ、演習Ⅱ	



国際 ビジネス 研究領域

研究領域紹介

多 様な教員が授業の中でビジネスに関する知識・理論や実践事例を提供し、さまざまな教育背景と職務経験をもった院生が、各々の関心や経歴と関連付けてビジネスを学びます。2年間を通じ、院生一人ひとりの将来的な仕事の展望に基づき、関心にあわせてテーマを設定し、学んだ理論等で裏打ちされた意見やデータを活用して修士論文を執筆します。ローカールーグローバルーローカル（山形という地方で学んだ院生が、学んだことを武器に国際社会で活躍し、得たことを地方に還元する）精神のもとに設計されたカリキュラムでは、「海外インターンシップ」という特色ある科目を設け、海外でビジネスを体験して学ぶことを可能にしています。英語で実施する授業も含まれており、専門的な知識を要する学びは厳しいですが、その分実際の仕事でのステップアップを後押しします。

履修モデル

研究テーマ Strategy & Entrepreneurship

履修科目 (32単位)	基礎科目	公益学総論	
	方法論科目	統計学、論文作成法、国際ビジネスコミュニケーション論	
	専門科目	<主研究領域> 国際ビジネス研究 2（マーケティング論） 国際ビジネス研究 3（国際経済論） 国際ビジネス研究 5（経営管理論） 国際ビジネス研究 8（コーポレートファイナンス論） 国際ビジネス研究10（経営戦略論） 国際ビジネス研究11（国際ビジネス論）	<他研究領域> 公共経営研究 1 （理論経済学）
	発展科目	海外インターンシップ	
	演習	演習Ⅰ、演習Ⅱ	



地域共創・ ソーシャル ワーク 研究領域



研究領域紹介

本学では大学院の開学以来、大学院生と教員が行政、NPO、企業等の多様な主体との連携、協働を進めながら庄内地域をはじめとする地方都市や中山間離島地域が抱える様々な課題解決のための研究に取り組んできました。以上の実績を踏まえて、現在のカリキュラムでは多文化共生社会の実現などグローバルな課題に取り組むための科目、ファシリテーションやコーディネーションなどの地域人材育成の方法論に関する科目、そしてスクールソーシャルワーカーの育成のための科目を設置し、多様で複雑な地域社会の課題の解決に貢献できる人材育成のためのより実践的な教育を提供します。地／知のプラットフォーム・公益大から多くの地域共創の研究成果と課題解決事例を発信するために皆様の入学をお待ちしています。

履修モデル

研究テーマ 協働・共創の地域づくりに関する研究

履修科目 (34単位)	基礎科目	公益学総論	
	方法論科目	論文作成法、社会調査論、共創の技法	
	専門科目	<主研究領域> 地域共創研究1 (公共性の社会学) 地域共創研究3 (多文化共生・人権論) 地域共創研究4 (ソーシャルキャピタル論) 地域共創研究6 (NPO・非営利組織論) 地域共創研究7 (ソーシャルビジネス論) 地域共創研究8 (合意形成・コーディネーション論)	<他研究領域> 公共経営研究7 (公共政策論) 国際ビジネス研究10 (経営戦略論) 情報学研究2 (情報システム)
	演習	演習Ⅰ、演習Ⅱ	

情報科学 研究領域



研究領域紹介

現在、情報化が高度に進み、情報ネットワークやそれを支えるソフトウェアは社会インフラとなっています。スマートフォンなど手軽に使える情報機器が広く普及し、情報検索や情報交換、情報発信だけでなく、SNSを用いてコミュニティを形成するなど、多くの人が情報ネットワークの恩恵にあずかりつつあります。これを支えるためには、すべての人が等しくアクセスできるデータやソフトウェアであるオープンデータ、オープンソースの思想を理解すること、すべての人が分け隔てなく情報交換しコミュニティを形成するための意義と基盤技術を理解すること、そして、社会に溢れる膨大かつ複雑な情報の中から本質的に重要な要素を抽出し、その簡潔性を保持したまま機敏な処理を行ない判断できることが重要となります。本研究領域では、講義や研究指導を通して、これらの能力が備わった人材を育成します。

履修モデル

研究テーマ 地域交流を活性化するための情報システムの研究

履修科目 (32単位)	基礎科目	公益学総論	
	方法論科目	統計学、論文作成法、情報処理論、共創の技法	
	専門科目	<主研究領域> 情報科学研究2 (情報システム) 情報科学研究4 (人間工学) 情報科学研究6 (公益ソフトウェア論) 情報科学研究7 (応用統計) 情報科学研究8 (情報セキュリティ) 情報科学研究10 (プログラミング概論)	<他研究領域> 地域共創研究8 (合意形成・コーディネーション論)
	演習	演習Ⅰ、演習Ⅱ	

スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程について ABOUT SSW CURRICULUM

東北公益文科大学大学院では、2018年4月より、大学院修士課程にスクール(学校)ソーシャルワーク教育課程(SSW教育課程)を設置し、スクールソーシャルワーカーを育成しています。

大学院への設置は全国初であり、公益学修士として学際的な知識とスキルを身に付けながら、スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程修了者として登録資格を得ます。

●スクールソーシャルワーカーとは

児童・生徒が学校や日常生活で直面する苦しみや悩みについて、児童・生徒の社会環境を構成する家族や、友人、学校、地域に働きかけ、福祉的なアプローチによって解決を支援する専門職です。

●教育課程受講資格

「社会福祉士」または「精神保健福祉士」の有資格者であることが求められます。

●課程の修了について

本学大学院修士課程の修了要件を満たしたうえで(3ページ参照)、以下の科目の単位修得が必要です。

専門科目：地域共創研究9(スクール(学校)ソーシャルワーク論)

発展科目：スクール(学校)ソーシャルワーク演習

スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導

スクール(学校)ソーシャルワーク実習

自由科目(修了単位には含まれません)：教育学、教育行政、生徒指導論、

進路指導論、教育心理学、教育相談の理論と方法、精神保健学、児童福祉論



●保有資格等による科目履修の免除について(2019年9月現在)

科目名	科目履修の免除			
	SSW実務経験 2年以上	教職普通免許 保持者	社会福祉士 有資格者	精神保健福祉士 有資格者
スクール(学校) ソーシャルワーク実習指導	免除(単位認定)	必修		
スクール(学校) ソーシャルワーク実習	免除(単位認定)	必修		
教育学	免除(単位認定)		1科目以上選択必修	
教育行政				
生徒指導論	免除(単位認定)		1科目以上選択必修	
進路指導論				
教育心理学				
教育相談の理論と方法				
精神保健学	必修			免除(単位認定)
児童福祉論	必修		免除(単位認定)	必修

●履修イメージ(標準修業年限2年を想定)

修士課程1年次 修士課程修了に必要な講義科目と、教育課程指定の講義科目を履修して単位を修得します。

修士課程2年次 教育課程の実習を経て、修士論文の執筆に取り組みます。

優れた教育研究環境と、 充実した支援制度で 院生をサポート

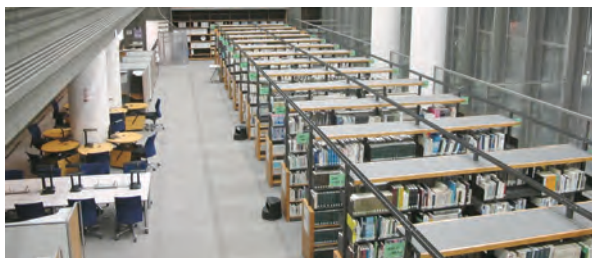
●研究ブース

鶴岡の中心地に、自分専用の「書斎」が持てます。大学院生一人につき、ひとつの研究ブース（デスク、書棚、パソコンなど）が用意され、24時間いつでも利用できます。



●図書館

鶴岡キャンパス建物内に図書館（致道ライブラリー）があり、大学院生証の提示により、資料の貸出も受けられます。本学関係者のみが利用できる限定開館時間も設けられています。



●長期履修生制度

仕事や家庭の都合で標準修業年限の2年間で30単位を修得して修了することがむずかしい場合、申請が認められると、在学を3年または4年に延ばすことができます。授業料は2年分を各年次で分割納付していただくため、経済的な負担も軽減します（施設整備費および保険料は各年次納付です）。

取得できる資格 QUALIFICATION

●中学校教諭専修免許状（社会） 高等学校教諭専修免許状（公民）

それぞれに対応する一種免許状を有していることが前提条件です。指定科目から24単位以上修得したうえで修了すると、山形県教育庁に申請して取得することができます。



●教育訓練給付指定講座（修士課程）

対象の方は申請により、修了後最大100,000円の給付を受けることができます。

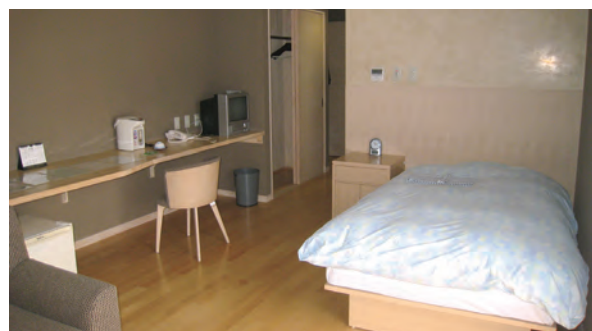
本学修士課程は、厚生労働大臣から「教育訓練給付制度」の講座指定を受けています。対象となる方が、修了後、ハローワーク（公共職業安定所）へ申請することで、上限額100,000円の教育訓練給付金の給付を受けることができます。

●学会等研究発表旅費補助制度

学会等で発表する際の旅費・参加費の一部を補助します。大学院生が学会等で自らが口頭またはポスター発表を行う場合、旅費および学会参加費を一部補助し、研究活動を支援します。

●宿泊補助制度

遠距離通学者は、低価格で宿泊が可能です。鶴岡キャンパスのセミナーハウス内には宿泊施設があり、庄内地域外からの通学者は、1泊1,200円で宿泊可能です。また、近隣の宿泊施設と連携して宿泊費の一部を補助しており、1泊1,500円程度で宿泊可能です（いずれも要事前予約。金額は2019年9月現在）。



●スクールソーシャルワーカー

社会福祉士または精神保健福祉士の国家資格を有していることが前提条件です。指定科目を単位修得したうえで修了すると、「一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程修了証」が交付されます。

入学試験の概要

修士課程

試験区分	試験科目	募集人員
一般選抜試験	英文和訳、小論文、面接試験	7名
卒論・修論等試験	論文審査、面接試験	
社会人選抜試験	小論文、面接試験	8名
社会人特別選抜試験	面接試験	8名
外国人留学生試験	面接試験	若干名

博士後期課程

試験区分	試験科目	募集人員
一般選抜試験	論文審査、英文和訳、 論述試験、面接試験	4名
社会人選抜試験		
社会人特別選抜試験		
外国人留学生試験	論文審査、論述試験、面接試験	若干名

入試日程

日程	出願受付期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
第1期	2019年8月1日(木)～10月19日(土)	2019年11月3日(日)	2019年11月8日(金)	2019年11月22日(金)
第2期	2019年12月1日(日)～2020年2月14日(金)	2020年2月29日(土)	2020年3月9日(月)	2020年3月23日(月)

※入学試験の詳細は「東北公益文科大学大学院入学試験要項」をご覧ください。

※本学大学院では、入学者の希望する研究内容と指導体制、研究環境等に齟齬が生じないよう、出願に先立っての相互理解が望ましいと考えています。教員との面談や大学院事務室への相談を随時受け付けておりますので、お気軽に本学大学院事務室（TEL 0235-29-0555）までご連絡ください。

学納金

初年度学納金

	年額	支払時期		備考
		入学手続時	第2セメスター	
入学金	(初年度のみ) 200,000円	200,000円	—	社会人特別選抜試験合格者は100,000円減免
授業料	500,000円	250,000円	250,000円	
施設整備費	100,000円	50,000円	50,000円	
合計	800,000円	500,000円	300,000円	

※2年度以降の学納金は、授業料および施設整備費の年額となります。

※上記のほかに、学生教育研究災害傷害保険料と学研災付帯賠償責任保険料が2年分で約2,500円必要です（2019年9月現在）。

※科目等履修生として「可」以上の成績評価を受けた方は、申請により、入学後に支払う授業料から支払い済みの科目履修料が減免されます（上限額あり）。

東北公益文科大学大学院に入学を検討するにあたり、「授業についていけるのか」「どのような学びなのか」と心配される方も少なくないと思います。そういった方は、ぜひ下記の制度を利用して、大学院の学びを体験してみませんか。

●公開講座への参加

大学院では、年間を通して授業の一部を公開する形で公開講座を開催しています。

●大学院授業見学

関心がある授業は、事前に東北公益文科大学大学院事務室にご相談いただければ、調整して見学いただくことが可能です。

●教員との事前面談

本学には様々な研究分野を専門とする教員がいます。大学院に入学した際は、研究指導教員から指導を受けながら修士論文を執筆します。希望があれば、大学院事務室が、関心がある教員との事前面談を調整します。

●科目等履修生制度

大学院生以外の方にも大学院修士課程で開講している対象科目の履修を認める制度で、1科目から授業を受け、正規の大学院生と同じようにレポート課題や試験等を経て単位を修得します。

科目等履修生として単位修得をした後に本学大学院へ正科生として入学した場合、申請により科目等履修生として修得した単位を、最大10単位まで、修了に必要な単位として認定します。

また、科目等履修生として「可」以上の成績評価を受けた授業科目の支払い済みの科目履修料が、大学院入学後、申請により授業料から減免されます（上限あり）。

●履修証明プログラム

職業上必要な知識の取得や学習の機会を提供し、キャリアアップ等への活用を目的として、社会人等を対象に、6科目を組み合わせた体系的な学習プログラムを提供しています。修了者には学校教育法に基づき「履修証明書」を交付します。なお、履修証明プログラムも科目等履修生同様、入学後の単位認定と授業料減免が可能です。



公開講座や各制度の詳細は、東北公益文科大学大学院のホームページをご覧ください。

【アクセス・問合せ先】

鶴岡キャンパス（大学院）

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14-1

TEL 0235-29-0555

HP・URL <http://gs.koeki-u.ac.jp/>

FB・URL <https://www.facebook.com/gskoeiki/>

E-mail gs@koeki-u.ac.jp

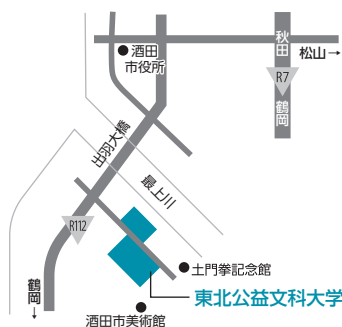
庄内空港から 車・バス約20分
 鶴岡駅から 車・バス約10分
 鶴岡ICから 車で約10分
 山形駅から 高速バス約2時間
 仙台駅から 高速バス約3時間

酒田キャンパス（公益学部）

〒998-8580 山形県酒田市飯森山3-5-1

TEL 0234-41-1111

URL <http://www.koeki-u.ac.jp/>



大学院HPはこちら



大学院FBはこちら

東北公益文科大学
 Tohoku University of Community Service and Science

2019年9月現在

大学院は人や学問との「出会いの場」です。
 さまざまな経歴の仲間が、年齢や出身を超えて集い、
 助け合いながら学修や研究に励んでいます。
 あなたも一緒に学んでみませんか。

